

施策名：マーケットインの商品(もの)づくりの加速

事業名	担当課・室名	ページ
G A Pを活かす産地育成事業	地域農業振興課	1 / 12
T h e・おおいたブランド流通販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 12
「ベリーツ」ブランド確立対策事業	おおいたブランド推進課	1 / 12
園芸品目等広域流通体制整備事業	おおいたブランド推進課	2 / 12
T h e・おおいたブランド消費喚起緊急対策事業	おおいたブランド推進課	2 / 12
畜産G A P取得推進事業	畜産振興課	2 / 12
おおいた材プロモーション活動支援事業	林産振興室	3 / 12
しいたけ消費拡大推進事業	林産振興室	3 / 12
県産水産物流通拡大推進事業	漁業管理課	3 / 12
県産農水産物学校給食提供事業	農林水産企画課	4 / 12
6次産業化サポート体制整備事業	おおいたブランド推進課	4 / 12
県産花き消費拡大緊急対策事業	園芸振興課	4 / 12
木造建築物等建設促進総合対策事業	林産振興室	5 / 12
「おおいたの有機」産地づくり加速化事業	地域農業振興課	5 / 12
もうかる水田作物産地力強化対策事業	農地活用・集落営農課	5 / 12
食品企業連携産地拡大推進事業	おおいたブランド推進課	6 / 12

事業名	担当課・室名	ページ
食品企業販路開拓緊急支援事業	おおいたブランド推進課	6 / 12
活力あふれる園芸産地整備事業	園芸振興課	6 / 12
牛乳消費拡大推進事業	畜産振興課	7 / 12
県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業	畜産振興課	7 / 12
おおいた冠地どり流通拡大対策事業	畜産振興課	7 / 12
酪農経営生産性向上対策事業	畜産技術室	8 / 12
第15回全日本ホルスタイン共進会対策事業	畜産技術室	8 / 12
草地畜産基盤整備事業	畜産技術室	8 / 12
酪農基盤対策事業	畜産技術室	9 / 12
大野川上流地区園芸産地強化対策事業	農村整備計画課	9 / 12
林業再生県産材利用促進事業	林産振興室	9 / 12
しいたけ増産体制整備総合対策事業	林産振興室	10 / 12
木材消費拡大緊急対策事業	林産振興室	10 / 12
ヒラメ養殖業生産体制強化支援事業	水産振興課	10 / 12
ブリ類養殖業成長産業化推進事業	水産振興課	11 / 12
農林水産物輸出需要開拓事業	おおいたブランド推進課	11 / 12
農林水産物輸出力強化緊急対策事業	おおいたブランド推進課	11 / 12

事業名	担当課・室名	ページ
養殖業緊急支援事業	水産振興課	12 / 12

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
1	GAPを活かす産地育成事業 (R2 ~ R4) 地域農業振興課 安全・安心な農産物等の生産や農業生産の経営改善等を図るため、JGAPの認証取得に向けた取組を支援する。	①GAPセミナー等の開催 1,497 ②JGAPの活かし方見える化事業 718 ③大分県版GAP認証制度の実施 620 ④JGAP農薬残留検査 600	農業教育機関のGAP認証数 [校]	目標値		7	9	JGAP認証農家数 [戸]	目標値		217	233	A
				実績値		9	—		実績値		222	—	
			達成率		128.6%	—	達成率		102.3%	—			
			JGAP認証農場の分析調査 [件]	目標値		1	2	事業の成果・今後の方針					
				実績値		—	—	新型コロナウイルスの影響により、JGAP認証農場の分析調査等、一部事業の中止や中断を余儀なくされたが、こねぎを中心にJGAP認証農家数が増加し、青果物部門全国第2位を維持した。また、農業大学校や県内の全農業高校がJGAP以上の認証を取得した。					
			GAP啓発セミナー開催数 [回]	目標値		1	1	令和3年度は、食品衛生法改正に伴うHACCP義務化の移行期間が終了するため、国内外における農産物流通の取引要件への対応等を見据えつつ、引き続きJGAP認証の推進を図る。					
実績値		1	—										
達成率		100.0%	—										
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算		3,435	10,386										
決算		2,669	—										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
2	The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業 (H28 ~ R5) おおいたブランド推進課 拠点市場における農林水産物のシェア拡大を図るため、総合的な情報発信を行うとともに、マーケットニーズに対応した販路開拓・販売促進に取り組む。	①県産農林水産物の流通販売戦略を立案推進する流通対策本部の活動、情報発信等 11,043 ②かぼすの需要拡大の活動を行う大分県カボス振興協議会に対する負担金 3,250	県外でのトップセールス回数 [回]	目標値	4	4	4	園芸戦略品目シェア1位の拠点市場数 [市場]	目標値	11	11	11	A
				実績値	7	2	—		実績値	10	11	—	
			達成率	175.0%	50.0%	—	達成率	90.9%	100.0%	—			
			農産及び食品企業担当マーケターによる商談回数 [回]	目標値	100	100	100	事業の成果・今後の方針					
				実績値	128	107	—	コロナ禍の影響により、県外でのトップセールス回数は目標を下回ったが、SNS等での情報発信に力を入れた。園芸戦略品目14品目のうち、シェア1位となった拠点市場数はピーマン(4)、にら(2)、白ねぎ(2)、こねぎ(1)、高糖度かんしょ(1)、かぼす(1)の11市場となり、目標を達成することができた。					
			達成率	128.0%	107.0%	—	今後は、拠点市場でのシェア率向上に加え、生産拡大が進んでいる白ねぎ等の中京圏への出荷にも取り組んでいく。						
情報発信回数 [回]	目標値	40	40	40									
	実績値	74	124	—									
達成率	185.0%	310.0%	—										
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	24,181	14,293	23,351										
決算	23,539	13,345	—										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
3	「ベリーツ」ブランド確立対策事業 (R2 ~ R4) おおいたブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、県オリジナルいちご「ベリーツ」のブランド確立に向けた高品質安定生産・流通販売対策を実施する。	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 20,461 ②モデルほ場の設置、栽培施設の高度化、資材導入等に対する補助 1,782	ギフトアイテム出荷比率 [%]	目標値		5	10	ベリーツのさがほのかに対する販売単価比率 [倍]	目標値		1.1	1.1	A
				実績値		13	—		実績値		1.1	—	
			達成率		260.0%	—	達成率		100.0%	—			
			年内単収 [kg/10a]	目標値		450	480	事業の成果・今後の方針					
				実績値		504	—	高価格帯のギフトアイテムの新規販売先の開拓や新規フェアでの販売などによりギフトアイテム出荷比率が13%となったほか、単価の高い年内の単収も目標を上回ったことから、さがほのかに対するベリーツの販売単価比率は目標に達した。					
			達成率		112.0%	—	引き続き、販路拡大を進めるとともに、ハウス内環境の制御技術導入や管理作業の外部委託システム構築を行い、ベリーツへの転換を促進させ、産地規模拡大を進めていく。						
区分 令和元年度 令和2年度 令和3年度	目標値												
	実績値												
達成率													
予算		22,243	29,476										
決算		21,546	—										

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
4	園芸品目等広域流通体制整備事業 (R2 ~ R2) おおいたブランド推進課 園芸品目等の輸送の効率化やモーダルシフトを推進するため、大分青果センターを拠点とした広域流通体制を構築する。	①流通効率化に資する冷蔵シャーシ整備への補助 24,000 ②未開拓市場等における主要品目の市場情報や需要動向等の調査 6,952	青果センター取扱量	目標値		12,200		RORO船活用品目	目標値		2		A
				実績値		14,732			実績値		2		
			[t]	達成率		120.8%		[品目]	達成率		100.0%		
				目標値				事業の成果・今後の方針			20トンの冷蔵トレーラー（シャーシ）3台を導入し、令和3年3月25日から運行を開始したことで、コールドチェーンによる首都圏市場等への効率的な流通体制が構築できた。 また、今後生産量の拡大が見込まれる戦略品目を中心に、首都圏や中部圏等の市場調査を実施し、将来の県産品の出荷見込みについて調査を行った。 今後は、調査結果をもとに、全農大分と物流体制も踏まえた販売計画について検討していく。		
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				実績値					
予算		31,452		達成率				達成率					
決算		31,246		達成率				達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
5	The・おおいたブランド消費喚起緊急対策事業 (R2 ~ R2) おおいたブランド推進課 県産農林水産物の家庭内消費等を喚起するため、レシピ動画やPR動画を小売店舗や料理サイト等で配信するほか、収束後に大消費地において消費拡大のためのPRイベント等を実施する。	①大消費地（関東、関西、福岡）におけるPRイベントの実施 87,858 ②レシピ動画や食材PR動画の制作 51,389 ③県産高級食材等の消費喚起キャンペーンの実施 25,000	県産農林水産物の動画制作数	目標値		19		消費拡大キャンペーン応募数	目標値		10,000		A
				実績値		22			実績値		15,591		
			[本]	達成率		115.8%		[件]	達成率		155.9%		
				目標値				事業の成果・今後の方針			コロナ対策の交付金を活用し、首都圏・京阪神・福岡において、販売アバターを活用した量販店フェアや高級飲食店等でのフェアを実施するとともに、店頭で放映するレシピ動画や品目ごとの動画を制作し、同フェア等で放映した。さらに、コロナ禍において、和牛や高級魚等で外食需要低迷の影響があったことから、家庭内消費を喚起するため、消費拡大キャンペーン等を実施した。 量販店の評価も高かったことから、引き続き、販売アバターやレシピ動画等を活用した販促活動を実施していく。		
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	レシピ動画の制作数	目標値		7		実績値		14		
予算		164,247		[本]	達成率		200.0%		達成率				
決算		164,246		大消費地でのPRイベントの実施回数	目標値		6		達成率		8		
				[回]	達成率		133.3%		達成率				

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
6	畜産GAP取得推進事業 (R2 ~ R4) 畜産振興課 畜産の競争力強化を図るため、指導員の育成から生産者指導及び生産者による畜産GAP等の認証取得までを推進する。	①農家指導にかかる経費 653 ②畜産GAP取得に向けた指導にかかる資機材整備 450 ③畜産GAP認証取得に対する助成 210 ④推進のための研修会経費 158	取組指導農家戸数	目標値		2	4	畜産GAP取得農場数	目標値		2	4	A
				実績値		2	-		実績値		2	-	
			[戸]	達成率		100.0%	-	[累計：戸]	達成率		100.0%	-	
				目標値				事業の成果・今後の方針			畜産農場における飼養衛生管理等を向上させることを目的として、指導員育成のための研修会を開催し、指導員による生産者指導を行った結果、認証農場が新規に2戸増加した。 引き続き、畜産GAPの推進を行い、取得農家数の増加、畜産GAPの考え方を取り入れた農家等の増加につなげる。		
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	研修会開催回数	目標値		1	1	実績値		1	-	
予算		1,922	2,256	[回]	達成率		100.0%	-	達成率				
決算		1,124	-	目標値					実績値				
				達成率					達成率				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
7	おおいた材プロモーション活動支援事業 (R1 ~ R3) 林産振興室 県産材の需要拡大を図るため、県外消費地における販売拠点の設置や大規模イベントの出展等に対して支援する。	①販売拠点の設置や大規模イベントの出展に対する助成 5,250	拠点でのイベント回数 [回]	目標値	5	5	5	国内拠点への販売量 [㎡]	目標値	3,250	7,500	10,000	D		
				実績値	6	3	—		実績値	3,197	3,989	—			
				達成率	120.0%	60.0%	—		達成率	98.4%	53.2%	—			
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
			予算	5,930	6,954	7,865	実績値				令和元年度に引き続き、県外消費地への県産材販売拠点の設置及びイベントへの出展を支援した。 コロナ禍において、全国的に木材需要が低迷したことやイベントの中止が相次いだため、目標の達成には至らなかったが、販売拠点の営業員に向け、リモート等を活用し販売促進活動を行った結果、販売量は前年を上回った。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行ったうえでイベントを開催し、販売量の拡大を図る。				
			決算	5,370	6,796	—	達成率								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
8	しいたけ消費拡大推進事業 (H29 ~ R2) 林産振興室 しいたけの消費拡大を図るため、生産者と流通事業者等が一体となって行うブランド力向上や新たな消費者層獲得に向けた取組を支援する。	①「うまみだけ」による消費拡大対策 23,051 ②乾しいたけの販売強化・普及PR活動 4,174 ③生しいたけの販売強化・普及PR活動 1,627	「うまみだけ」PR活動実施回数 [回]	目標値	3	3		「うまみだけ」出荷量 [t]	目標値		15.0		A			
				実績値	5	11			実績値		16.7					
				達成率	166.7%	366.7%			達成率		111.3%					
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	乾しいたけPR活動回数 [回]	目標値	12	12		事業の成果・今後の方針				
			予算	30,878	28,852			実績値	16	15		新ブランド「うまみだけ」の消費拡大を図るため、テレビCM等による県内認知度向上対策やレシピ開発、メーカー等による販路開拓を実施した。 また、普及指導員等による「うまみだけ」の品種別管理調査や生産者指導を行った結果、目標の出荷量を確保することができた。 令和3年度からは、さらなる消費拡大を図るため、「しいたけ消費拡大対策事業」として、大消費地での販促イベントや商品開発のための施設整備等を支援する。				
			決算	27,208	26,235			達成率	133.3%	125.0%						
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	京都市場向けの原木生しいたけに関する活動回数 [回]	目標値	10	10						
予算				実績値	10	9										
決算				達成率	100.0%	90.0%										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
9	県産水産物流通拡大推進事業 (R1 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大を図るため、大消費地における販促活動を行うとともに、子育て世代を中心とした魚食普及活動や「おおいた県産魚の日」を活用した県産魚PR活動を実施する。	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 7,955 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,742	量販店等でのフェア開催回数 [回]	目標値	18	19	20	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 [店]	目標値	10	20	30	A			
				実績値	18	19	—		実績値	10	20	—				
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	100.0%	100.0%	—				
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	魚食普及活動回数 [回]	目標値	17	18	19	事業の成果・今後の方針				
			予算	12,157	12,097	12,097		実績値	17	19	—	大消費地において、量販店等で「かぼす養殖魚を核としたフェア」を開催したことが評価され、通年で販売が見込める量販店とパートナーシップを結ぶことができた。 令和3年度は、商社との連携により、引き続き大消費地における販路拡大を進める。一方、県内においては「おおいた県産魚」の消費拡大を図るため、魚介類消費の少ない子育て世代をターゲットに魚食普及活動を進め、県水産関係者の経営安定化につなげていく。				
			決算	11,978	11,067	—		達成率	100.0%	105.6%	—					

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	事業の成果・今後の方針
10	県産農水産物学校給食提供事業 (R2 ~ R2) 農林水産企画課 新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減少した県産農林水産物の消費を拡大するため、希望する県内小中学校等の学校給食に県産農林水産物を提供するとともに、食育を通じ児童・生徒の農林水産業への理解醸成に取り組む。	①県産農林水産物提供経費への補助・委託 新型コロナウイルス感染症の影響により需要が落ち込んだ県産農林水産物（おおいた和牛、県産地どり、高級魚、ジビエ等）の消費を拡大するため、学校給食向けに食材を提供する際に必要となる経費及び農林水産業への理解醸成につながる食育活動関連経費に対し助成	令和2年7月から令和3年3月の間に、おおいた和牛で約22t、養殖ヒラメで約4tを学校給食に提供するなど、県産農林水産物の消費拡大を図ることができた。 県産農林水産物の消費量を維持し生産意欲の維持・向上を図るため、令和3年度に予算を繰り越して食材提供を継続する。 （翌年度繰越額 100,000千円）
		【対象】 県内の公立小中学校及び特別支援学校等389校 【期間】 令和2年7月～3年3月 【提供量】 ・おおいた和牛 21,733kg ・おおいた冠地どり 14,085kg ・関あじ関さば 4,126kg ・養殖ヒラメ 3,512kg ・養殖ブリ 11,395kg ・ジビエ 3,252kg	
		区分 令和元年度 令和2年度 令和3年度 予算 471,328 決算 370,538	

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活 動 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成 果 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
11	6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R5) おおいたブランド推進課 6次産業化の成功事例となる事業者を育成することにより6次産業化を推進するため、県産農林水産物の付加価値向上、雇用の創出、地域の活性化につながる取組を実施する。	①6次産業化サポートセンターの運営委託 18,004 ②商品改良、販売促進活動への支援 2,343	6次産業化チャレンジスクールの受講者数	目標値	20	20	20	6次産業化に係る総合化事業計画の認定件数	目標値	2	2	2	A			
				実績値	30	22	—		実績値	5	2	—				
			[人]	達成率	150.0%	110.0%	—	[件]	達成率	250.0%	100.0%	—	事業の成果・今後の方針	6次産業化サポートセンター、九州農政局大分県拠点等の関係機関と連携し、農林水産業者の6次産業化の取組に対する国の総合化事業計画の認定件数は目標を達成した。また、コロナ禍に対応した販路開拓を目的に、オンライン商談会や食品加工を依頼できる企業との異業種交流会を開催し、新たな6次産業化への取組を後押しした。 引き続き、関係機関と連携して人材の育成等を行い、6次産業化の推進を図っていく。		
				目標値					目標値							
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	実績値				実績値					
							達成率				達成率					
予算	20,482	20,347	25,203													
決算	20,474	20,138	—													

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活 動 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成 果 指 標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
12	県産花き消費拡大緊急対策事業 (R2 ~ R2) 園芸振興課 県産花きの消費を拡大するため、県産花きを使用した花飾りを小・中・高等学校、特別支援学校の卒業式等の会場に展示し、来場者への県産花き消費拡大の意識の醸成に取り組む。	①卒業式・入学式への花飾りの展示 27,225	事業実施市町村数	目標値		18		花飾り設置台数	目標値		411		A			
				実績値		18			実績値		418					
			[市町村]	達成率		100.0%		[台]	達成率		101.7%		事業の成果・今後の方針	コロナ対策の交付金を活用し、県産花きを使用した花飾りや、使用した花きの紹介パネルを卒業式会場に展示した。 関心を持つ保護者・生徒も多く、県産花き消費拡大の意識醸成と生産者への支援につながった。 なお、4月実施となる入学式分については、令和3年度に予算を繰り越して実施した。 （翌年度繰越額 13,332千円）		
				目標値					目標値							
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	実績値				実績値					
							達成率				達成率					
予算		27,225														
決算		13,794														

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
13	木造建築物等建設促進総合対策事業 (H23 ~ R5) 林産振興室 県産材の需要拡大を図るため、中大規模木造建築に取り組もうとする建築士の育成を図る研修等を実施し、木造化を検討する建築士等に対する相談窓口の設置を行う。	①中大規模木造建築物の設計を行おうとする建築士に対する講習会の実施 2,991 ②建築士に対する木材利用アドバイザーの設置 900	研修会開催数	目標値	7	7	7	木造マイスター修了者数	目標値	15	15	15	D		
				実績値	7	9	—		実績値	18	8	—			
				[回]	達成率	100.0%	128.6%	—	[人]	達成率	120.0%	53.3%	—		
					目標値					事業の成果・今後の方針					
					実績値					木造建築を担う建築士の育成に向け、研修会の開催支援を行った結果、9名の参加があり、最終的に8名が修了した。コロナ禍で研修生の確保が困難な状況であったことから、リモートでの実施や広い会議室の確保などに努めたものの、目標値には達しなかった。 令和3年度は、リモートでの実施を積極的に行うなど、コロナ禍でも参加しやすい研修環境を整えることで、研修生の確保に努める。					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
予算	7,340	4,178	20,402												
決算	7,339	4,178	—												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
14	「おおいたの有機」産地づくり加速化事業 (R1 ~ R3) 地域農業振興課 有機農業の産地拡大と生産者の経営力強化を図るため、有機農業の産地を牽引するトップランナーの生産力向上などを支援するとともに、県産有機農産物の認知度向上に取り組む。	①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 11,105 ②SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報発信 4,185	産地化に取り組む経営体数	目標値	10	12	14	主要経営体の販売額	目標値	225	262	277	A		
				実績値	11	17	—		実績値	219	265	—			
				[経営体]	達成率	110.0%	141.7%	—	[百万円]	達成率	97.3%	101.1%	—		
					目標値					事業の成果・今後の方針					
					実績値					県域での有機農業の生産流通体制の整備と生産者の経営力強化を図るため、「おおいた有機野菜生産出荷体制構築会議」の設立を支援した。新型コロナウイルスの影響により、外食向け等では苦戦したものの、宅配等の家庭での消費が伸びたことにより販売額は前年度を上回った。 今後も、国内外への販路拡大や有機JAS認定取得を目指す有機野菜の新規就農者等の受け皿づくりのため、構築会議を通じて県域共同出荷体制の支援を進めていく。					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
予算	12,805	15,290	22,791												
決算	11,308	15,289	—												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
15	もうかる水田作物産地力強化対策事業 (R2 ~ R4) 農地活用・集落営農課 消費者や実需者ニーズに応じた水田作物の生産・供給のため、良食味米及び麦・大豆新品种の生産対策により収量・品質の高位平準化を図る。	①地力改善技術普及対策 3,050 ②生産者と協同した産地のパワーアップ対策 1,800 ③実需者ニーズに即した麦・大豆品種の普及・定着対策 480	生産者組織の育成数	目標値		6	6	米の食味ランキング特A獲得地区数	目標値		1	1	D		
				実績値		7	—		実績値		0	—			
				[組織]	達成率		116.7%	—	[地区]	達成率		0.0%	—		
					目標値			2	4	事業の成果・今後の方針					
					実績値			3	—	本事業を活用して、良食味米展示ほの設置、食味検査の実施、栽培資料の作成等に取り組んだ。 特Aランキング外となった原因の一つにトビイロウンカの被害があったことから、栽培資料の見直しなど病虫害防除を徹底するための指導を重点的に行う。 さらにこれまでの取組に加えて、温暖化に対応した水稻新品种なつほのかの導入実証を実施する。					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
予算		6,495	10,850												
決算		5,521	—												

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
16	食品企業連携産地拡大推進事業 (H28 ~ R5) おおいたブランド推進課 農商工連携による農林水産物の付加価値向上を図るため、産地と県内外の食品企業が連携した取組を支援する。	①県産品を利用する食品企業の加工施設整備等への補助 108,006 ②産地の育成・拡大を行う農業組織の機械整備等への補助 5,104 ③フードマーケットのマッチング活動経費等 2,474	加工業務用農産物の栽培拡大面積	目標値	24	24	24	食品企業ニーズに対応した生産・出荷体制の構築	目標値	24	24	24	A
				実績値	25	27	—		実績値	28	32	—	
			[ha]	達成率	104.2%	112.5%	—	[マッチング数・産地拡大数]	達成率	116.7%	133.3%	—	
			商品化支援件数	目標値	2	2	2	事業の成果・今後の方針					
				実績値	5	4	—	フードマーケットや各振興局の農商工連携担当者による食品企業ニーズの把握により、食品企業と産地のマッチングが進み、ほうれんそう、えだまめ、キャベツなどの加工業務用野菜の産地が拡大した。					
			[件]	達成率	250.0%	200.0%	—	引き続き、食品企業のニーズに対応した機械化や出荷体制の構築により、加工業務用農産物の生産者、産地の掘り起こしを図っていく。					
食品企業の意向調査数	目標値	150	150	150									
	実績値	150	155	—									
			[社]	達成率	100.0%	103.3%	—						
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	459,209	117,691	27,670										
決算	306,504	116,458	—										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
17	食品企業販路開拓緊急支援事業 (R2 ~ R2) おおいたブランド推進課 家庭食ニーズの高まりによる小売り向け商材需要等に対応するため、食品製造業者の製造機械・機材の整備を支援する。	①既存業態から小売り向け等へ販路拡大する事業者の機械整備等への補助 29,966	少量包装による新商品の開発数	目標値		4		機械整備による新規の販売先数	目標値		2		A
				実績値		4			実績値		2		
			[商品]	達成率		100.0%		[箇所]	達成率		100.0%		
				目標値				事業の成果・今後の方針					
				実績値				コロナ対策の交付金を活用し、県産農産物を使用する食品企業に対して、コロナ禍における家庭内需要等に対応するための計量機・包装機等の整備を支援することで、新規の販売先を開拓した。					
				達成率				今後は、新規販路の開拓に伴う加工原料のニーズに対応するため、既存産地の拡大や新規産地の掘り起こしを進めていく。					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算		29,966											
決算		29,966											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
18	活力あふれる園芸産地整備事業 (H28 ~ R2) 園芸振興課 園芸戦略品目、園芸戦略品目ネクスト等のさらなる産出額向上を図るため、水稻から園芸作物への転換の取組や栽培施設などの整備に要する経費に対して助成する。	①戦略品目の振興のための施設整備等に対する助成 1,056,479 ②一般園芸品目の振興のための施設整備等に対する助成 48,811 ③戦略品目ネクストの振興のための施設整備等に対する助成 8,206	事業担当者会議の開催回数	目標値	4	4		園芸戦略品目の生産拡大面積	目標値	45.0	63.0		B
				実績値	5	4			実績値	49.8	57.0		
			[回]	達成率	125.0%	100.0%		[ha]	達成率	110.7%	90.5%		
			事業活用した新規就農者数	目標値	20	20		事業の成果・今後の方針					
				実績値	37	25		ピーマンなどの園芸戦略品目やキャベツなどの園芸戦略品目ネクスト等の栽培施設や生産基盤の整備により、認定農業者や企業参入等による規模拡大が図られ、生産拡大につながった。一般品目も含め、水稻から様々な園芸品目への転換が進んだ結果、園芸戦略品目の拡大面積は57haであった。					
			[人]	達成率	185.0%	125.0%		令和3年度からは、「次代へ繋ぐ園芸産地整備事業」として、白ねぎを重点に、引き続き園芸戦略品目の生産面積拡大に取り組んでいく。					
園芸振興にかかる研修会の開催回数	目標値	2	2										
	実績値	2	2										
			[回]	達成率	100.0%	100.0%							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	1,754,362	1,144,718											
決算	313,127	658,150											

(翌年度繰越額 426,279千円)

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
19	牛乳消費拡大推進事業 (H28～R5) 畜産振興課 酪農等に対する消費者の理解醸成と県産牛乳の消費拡大に向け、生産者と乳業メーカー等が連携して実施する酪農体験イベントなどを支援する。	①イベントや出張講座等酪農体験実施支援 460 ②小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 296	見学受入回数	目標値	30	40	50	啓発活動参加人数	目標値	5,000	6,000	7,000	D
				実績値	17	11	—		実績値	4,620	3,759		
			[回]	達成率	56.7%	27.5%	—	[人]	達成率	92.4%	62.7%	—	
			酪農体験イベント回数	目標値	18	18	18	事業の成果・今後の方針					
				実績値	16	10	—	新型コロナウイルスの影響で、工場見学や酪農体験イベントが中止となり、啓発活動への参加人数は目標値に達しなかった。					
[回]	達成率	88.9%	55.6%	—	今後は、新型コロナウイルスの感染状況を見据えながら、小学校等への早期の周知や万全の感染予防対策を講じたイベントの開催、食育関係パンフレットの配布等により、牛乳や酪農についての啓発を図る。								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値									
予算	1,566	756	1,582	実績値									
決算	1,514	549	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
20	県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業 (H29～R4) 畜産振興課 県内養豚農家の所得向上を図るため、オレイン酸に着目した県統一ブランド「米の恵み」及びオレイン酸含有率の高い高価格帯の特別商品「米の恵みプレミアム」の販売促進等に対し支援する。	①「米の恵み」の消費拡大のための販促資材の作成及び広告・宣伝活動に対する支援 2,672 ②美味しさの指標とされるオレイン酸含有率測定体制の整備 640	イベント等開催回数	目標値	10	10	10	米の恵みプレミアム出荷頭数	目標値		20,000	30,000	A
				実績値	12	10	—		実績値		30,238		
			[回]	達成率	120.0%	100.0%	—	[頭]	達成率		151.2%	—	
			オレイン酸測定回数	目標値	—	—	111,500	事業の成果・今後の方針					
				実績値	94,051	101,705	—	米の恵み取扱店舗数は161店舗と前年より29店舗増加し、徐々に県産ブランド豚として認知されてきている。首都圏ホテルでのフェアをはじめとしたイベント等開催での消費喚起により、出荷頭数も10万頭を超え、うち米の恵みプレミアムのお荷頭数は目標値を達成した。					
[回]	達成率	—	—	—	引き続き、米の恵みプレミアムのお荷頭数の拡大や取扱店舗を開拓し、生産者所得の向上を目指す。								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値									
予算	5,163	4,038	4,038	実績値									
決算	4,437	3,130	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
21	おおい冠地どり流通拡大対策事業 (H29～R4) 畜産振興課 県産地鶏「おおい冠地どり」のさらなる生産拡大を図るため、専門店設置によるブランド力向上と需要拡大に取り組むとともに、供給力強化に必要な施設の整備改修を行う。	①増羽のための施設整備や改修にかかる費用の助成 2,100 ②県内外への販路拡大や商談展示会出展・フェアの開催等による知名度向上に要する経費の支援 1,500	情報発信回数	目標値		3	3	出荷羽数	目標値	164	150	150	D
				実績値		3	—		実績値	134	111		
			[回]	達成率		100.0%	—	[千羽]	達成率	81.7%	74.0%	—	
			現地協議回数	目標値		3	3	事業の成果・今後の方針					
				実績値		7	—	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、県内外の飲食業等での消費が大きく減少した。農場視察や協議を重ね、4つの農場が生産基盤強化を図り、また「県産農水産物学校給食提供事業」にて食材を提供する等の対策を行ったが、滞留在庫により出荷計画を変更せざるを得ず、出荷羽数は目標値を下回った。					
[回]	達成率		233.3%	—	令和3年度は、さらなる販路拡大や多様な商品の開発により、元の計画通りに出荷予定である。								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値									
予算	3,170	3,702	3,702	実績値									
決算	2,815	3,624	—	達成率									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
22	酪農経営生産性向上対策事業 (H29～R4) 畜産技術室 国際化の進展に対応可能な生産性の高い酪農経営体制を構築するため、後継牛の能力向上や規模拡大の取組を支援する。	①優良雌牛導入経費の貸付 37,888 ②性別別精液費用の助成 15,000 ③乳用牛飼料代の助成 11,500 ④ゲノム解析にかかる検査代の助成 10,400 ⑤省力化機器の整備や牛舎の暑熱対策等施設整備への助成 10,020	事業推進会議の開催回数 [回]	目標値	9	9	10	平均個体乳量9,000kg以上の農家戸数 [累計：戸]	目標値	34	36	42	A			
				実績値	11	12	—		実績値	34	40	—				
				達成率	122.2%	133.3%	—		達成率	100.0%	111.1%	—				
				後継牛割合	目標値	34.0	36.0	38.0	事業の成果・今後の方針 高温の影響で分娩件数が減少したこともあり、後継牛の割合は下がったが、後継牛の能力向上や暑熱期の乳量低下対策に取り組んだ結果、生産性の高い農家戸数が目標を達成した。引き続き、営農を続ける若い酪農家の生産性向上のため、乳用牛ゲノム検査や性別別精液活用を推進し、酪農家の経営基盤強化を図る。							
				実績値	35.4	34.5	—									
達成率	104.1%	95.8%	—													
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値												
予算	57,914	85,899	189,209	実績値												
決算	44,994	67,773	—	達成率												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価						
23	第15回全日本ホルスタイン共進会対策事業 (R1～R2) 畜産技術室 改良増殖に対する技術と意欲の向上を通じて酪農経営の安定化を図るため、第15回全日本ホルスタイン共進会への出品対策を行う。	①共進会開催に向けた協議会への負担金 855	出品のための打合わせ会議 [回]	目標値	6	8		第15回全日本ホルスタイン共進会の出品頭数 [頭]	目標値		5		—						
				実績値	6	10			実績値		—								
				達成率	100.0%	125.0%			達成率		—								
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針 令和2年度は第15回全日本ホルスタイン共進会が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大会が中止となった。そのため、事業自体は執行を見送り、大会準備にかかった負担金のみの支出となったが、県下酪農家の改良意欲の向上を目指し、引き続き技術指導等を行う。							
				予算	1,626	855		実績値											
決算	1,347	855		達成率															

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価						
24	草地畜産基盤整備事業 (H29～R3) 畜産技術室 規模拡大等による担い手の経営安定や、安全・安心な自給飼料を通じた産地づくりのため、飼料生産基盤の整備や、自給飼料活用型の経営改善を支援する。	①草地造成や施設整備に対する助成 50,050	推進会議の回数 [回]	目標値	12	12	12	草地造成・整備面積 [累計：ha]	目標値	29.0	67.0	72.0	A						
				実績値	13	12	—		実績値	29.7	70.5	—							
				達成率	108.3%	100.0%	—		達成率	102.4%	105.2%	—							
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針 豊肥西部地区及び由布玖珠地区の草地造成、整備について、5月に事業着手、12月に草地造成3.7ha、草地整備37.1haが完了し、年内に事業完了となった。また、令和4年度からの新規地区の立ち上げに向け、参加予定者への説明会等を行った。令和3年度は引き続き由布玖珠地区での草地造成、整備、機械導入を行うとともに、令和4年度からの新規地区の事業計画の作成を行う。							
				予算	15,936	50,747	15,907	実績値											
決算	15,903	50,178	—	達成率															

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
25	酪農基盤対策事業 (R2 ~ R3) 畜産技術室 畜産経営体の地域内連携により収益力向上を図るため、畜産クラスター計画に基づく牛舎等の整備に対し助成する。	①牛舎等施設整備への補助 100,000	取組農家への現地指導回数 [回]	目標値			12	新規取組農家における経産牛増頭割合 [%]	目標値			100.0	-			
				実績値			-		実績値			-				
				達成率			-		達成率			-				
						県酪農協担当者との協議回数 [回]	目標値			12	事業の成果・今後の方針 経産牛の増頭を図るため、生産者等の関係者ととも策定した畜産クラスター計画に沿った施設整備を支援し、経産牛の増頭割合の向上及び生乳生産量の増加を図る。 国の補正予算を活用しているため、令和3年度に予算を繰り越して事業を実施する。 (翌年度繰越額 37,603千円)					
				実績値				-								
				達成率				-								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値												
予算		100,000	100,000	実績値												
決算		0	-	達成率												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
26	大野川上流地区園芸産地強化対策事業 (R2 ~ R5) 農村整備計画課 大野川上流地区において、大蘇ダムからの畑地かんがい用水を活用した野菜等の生産拡大及び農地の高度利用を図るため、給水栓の設置等を支援する。	①野菜等の生産振興を図るための給水栓新規設置に対する助成 7,140	竹田市西部地区営農振興協議会開催回数 [回]	目標値		6	6	給水栓の設置により新たに水使用が可能となる畑地 [ha]	目標値		107	107	A		
				実績値		15	-		実績値		112	-			
				達成率		250.0%	-		達成率		104.7%	-			
						事業の成果・今後の方針 令和2年度は、営農振興協議会を15回開催し、推進体制及び役割分担を明確化するなど、組織体制の強化を図った。この体制により、野菜の作付推進に係る地元説明会を26回開催し、事業推進に取り組んだ結果、目標を上回る112haのほ場で新規給水栓を設置することができた。 引き続き、営農振興協議会を中心に、新規給水栓設置107ha/年を推進し、水使用が可能となる畑地の拡大及び野菜の作付拡大を図る。	目標値								
				実績値											
				達成率											
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値											
予算		7,546	11,046	実績値											
決算		6,566	-	達成率											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
27	林業再生県産材利用促進事業 (H21 ~ R5) 林産振興室 県産材の需要拡大と製品加工等の低コスト化等を図るため、木材の加工流通施設や木質バイオマス施設の整備、労働環境改善への取組等を支援する。	①木材加工流通施設の整備に要する経費に対する支援 353,123 ②木質バイオマス利用施設等の整備に要する経費に対する支援 94,635	乾燥機導入数 [基]	目標値	2	2	2	乾燥材生産量 [千㎡]	目標値	4	6	8	A		
				実績値	2	5	-		実績値	4	6	-			
				達成率	100.0%	250.0%	-		達成率	100.0%	100.0%	-			
						事業の成果・今後の方針 製材品の付加価値向上に向け、乾燥機の導入支援を行った結果、目標とする乾燥材の生産量を達成することができた。 引き続き、高品質な製材品の生産を支援するとともに、令和3年度からは、大径材の利用促進を図るため、大径材を効率的に製材加工するビジネスモデルを構築する。 (翌年度繰越額 256,470千円)	目標値								
				実績値											
				達成率											
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値											
予算	572,408	478,389	241,699	実績値											
決算	255,866	221,919	-	達成率											

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
28	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興室 大分県産しいたけのさらなる品質向上と生産量の増大を図るため、生産基盤の整備や原木供給作業等の協業化の取組を支援する。	①生産施設、機械等の導入に対する補助 28,148 ②林内作業路の整備に対する補助 8,570	生産施設等整備事業実施分原木伏込量 [m³] 低コスト簡易作業路の開設 [m]	目標値	3,854	3,854	3,854	中核的生産者数 [人]	目標値	219	219	219	A			
				実績値	4,888	3,682	—		実績値	221	219	—				
				達成率	126.8%	95.5%	—		達成率	100.9%	100.0%	—				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算	47,684	37,328	54,815	実績値				低コスト簡易作業路の開設やユニック車・バックホウ・散水施設・林内作業車等の導入を支援した結果、原木伏せ込み量は目標を概ね達成することができ、中核的生産者数も目標人数を確保することができた。 引き続き、生産規模拡大に向けた生産施設・機械等の導入を支援するとともに、原木供給体制を構築することで、中核的生産者を確保し、品質向上と生産量の増大を図る。				
				決算	38,800	36,108	—	達成率								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
29	木材消費拡大緊急対策事業 (R2 ~ R2) 林産振興室 県内の住宅需要を喚起し、県産材消費を拡大するため、県産材を使用した住宅を建築する県民に対し、県産加工家具等の購入に利用できるポイントを交付するほか、住宅・オフィス等の改修工事に要する経費を支援する。	①県産材を一定量以上使用して住宅を新築する者に対する支援 144,500 ②住宅や店舗等の改修工事に県産材を使用する取組に対する支援 10,890	木造住宅新築支援棟数 [棟]	目標値		350		地域材利用量 [m]	目標値		3,500		A			
				実績値		290			実績値		5,167					
				達成率		82.9%			達成率		147.6%					
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算		155,390		実績値				コロナ対策の交付金を活用し、県産材を使用して住宅の新築や店舗等の改修工事を行う者に対する支援を行った結果、木造住宅新築支援棟数は目標を下回ったものの、ポイントと交換できる家具や農林水産物を充実させたことで、新築住宅1棟当たりの県産材利用量が増加し、目標を上回る地域材の利用につながった。 令和3年度も引き続き、住宅の新築等に対する支援を実施し、地域材利用の増加を図る。 (翌年度繰越額 15,437千円)				
				決算		139,953		達成率								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
30	ヒラメ養殖業生産体制強化支援事業 (R2 ~ R4) 水産振興課 ヒラメ養殖の生産振興を図るため、成長促進効果が認められた緑色LEDの普及を促進する。	①緑色LEDの導入による生産体制の強化 5,320	緑色LED設備導入補助件数 [件]	目標値		3	3	養殖ヒラメ生産量 [t]	目標値		827	883	D			
				実績値		3	—		実績値		536	—				
				達成率		100.0%	—		達成率		64.8%	—				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算		5,320	5,320	実績値				養殖業者の緑色LEDへの関心は高く、3施設に整備できたが、新型コロナウイルス感染症による外食向け需要の落ち込みに伴い、養殖ヒラメの生産量は目標値に達しなかった。 このため、他の事業において、家庭向けへの販路拡大や次期作種苗投入に要する経費の助成、学校給食への提供を行ったことにより、養殖業者の生産意欲の維持・向上を図った。 今後も、緑色LEDの普及を促進し、養殖ヒラメの生産量向上を支援していく。				
				決算		5,319	—	達成率								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
31	ブリ類養殖業成長産業化推進事業 (H30 ~ R2) 水産振興課 本県の水産業の主力であるブリ類養殖業の成長産業化を推進するため、輸出拡大に向けた取組を行うとともに、人工種苗生産技術の確立による周年出荷体制を構築する。	①ブリ人工種苗周年出荷体制の構築及び供給体制の整備 5,361	ブリ人工種苗の生産尾数 [尾]	目標値	20,000	20,000		米重量販店輸出向け養殖ブリの新規池入れ尾数 [尾]	目標値	200,000	210,000		B			
				実績値	67,000	69,000			実績値	160,000	200,000					
				達成率	335.0%	345.0%			達成率	80.0%	95.2%					
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算	11,877	5,361		実績値				池入れ尾数は目標を下回ったものの、本事業で整備した生け簀等を活用し、発注に即応できる尾数を確保できた。また、ブリ人工種苗の生産尾数は、生産技術（餌料培養、水流管理等）の向上により、目標を上回る69,000尾を生産できた。 令和3年度からは、マーケットイン型のブリ養殖業の推進を図るため、「ブリ類養殖業生産体制強化推進事業」として、本事業で確立したブリ人工種苗生産技術を活用し、通常採卵期とは大きく異なる8月の採卵による人工種苗生産を行う。				
				決算	11,877	5,196		達成率								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価				
32	農林水産物輸出需要開拓事業 (H28 ~ R5) おおいたブランド推進課 成長する海外需要を取り込み、農林水産業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会を核とした輸出拡大の取組を支援する。	①輸出拡大・定着に向けた商談会やフェアへの出展等 36,607 ②動物福祉対応及び血斑発生低減に向けた取組の支援 15,000	輸出延べ品目数 [品目]	目標値	45	51	54	農林水産物の輸出額 [億円]	目標値	31.0	37.6	42.4	D				
				実績値	48	53	—		実績値	25.6	28.9	—					
				達成率	106.7%	103.9%	—		達成率	82.6%	76.9%	—					
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	海外での商談会やフェアへの出展回数 [回]	目標値	3	3	3	事業の成果・今後の方針				
				予算	37,946	51,607	44,063	ブランドおおいた輸出促進協議会の会員数 [者]	目標値	36	37	38	コロナ禍での現地外食需要の減少により、養殖ブリや養殖クロマグロ等の輸出が低調であったため、目標は達成できなかったが、米国向け牛肉や中国向け丸太・製材等の取引量が拡大した結果、輸出額は過去最高の28.9億円となった。 今後は、輸出先国のコロナ禍の状況に応じた商流の回復、さらには相手国や輸出品目の拡大等の新規販路開拓対策に加え、国の実行戦略も踏まえ相手国のニーズに対応した産地づくりに取り組む。 (翌年度繰越額 35,000千円)				
				決算	35,729	15,381	—	実績値	36	34	—						
				達成率	100.0%	91.9%	—										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価				
33	農林水産物輸出力強化緊急対策事業 (R2 ~ R2) おおいたブランド推進課 新型コロナウイルス感染症に対応し、輸出力の強化を図るため、県産農林水産物の品質や特徴を伝えるPR動画の制作等を実施する。	①主要な輸出品目の4言語対応PR動画の制作及び放映機材の導入 13,597 ②商談用パンフレットの更新及びホームページの多言語化への対応 6,518	PR動画の制作数 [本]	目標値		12		PR動画を活用したイベント数 [回]	目標値		12		A				
				実績値		12			実績値		13						
				達成率		100.0%			達成率		108.3%						
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	PR動画放映機材の導入数 [台]	目標値		14		事業の成果・今後の方針				
				予算		20,115		ホームページで多言語対応した品目 [品目]	目標値		24		コロナ対策の交付金を活用し、輸出主要6品目（梨、甘太くん、牛肉、乾しいたけ、養殖ブリ、養殖クロマグロ）の4言語（日本語、英語、繁体字、簡体字）対応PR動画の制作、PR動画放映機材（タブレット、モニター）の導入、4言語対応商談用パンフレットの更新、ホームページの多言語化対応を実施した。 今後も、PR動画等を活用し、県産農林水産物のさらなる輸出力強化を図っていく。				
				決算		20,114		実績値		24							
				達成率		100.0%											

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	事 業 の 成 果 ・ 今 後 の 方 針																		
34	養殖業緊急支援事業 (R2 ~ R2) 水産振興課	①販路拡大経費の補助 需要が増加している家庭向けの供給量増大に向けて、商社等が実施する量販店への販路拡大に要する経費に対し助成 ②次期作支援経費の補助 養殖魚のうち、国による収入安定対策事業の対象外である陸上養殖魚（ヒラメ、トラフグ等）について、次期作種苗投入に要する経費に対し助成	コロナ対策の交付金を活用し、商社等が県内養殖魚を仕入れ、安全性検査及びスキンスレスフィレ加工、スキンスロスロイン加工等を施すなどの県外量販店等への出荷に要する経費を助成した結果、養殖ヒラメ等の消費拡大が図れた。 また、陸上養殖のうち、養殖魚の安全性確保、養殖漁場環境の保全等に取り組んでいる生産者に対し、次期作種苗投入に要する経費を助成した結果、31者で約107万尾の生産を維持することができた。																		
	コロナ禍により飲食店等への出荷量が減少している養殖ヒラメ等の消費拡大を図るため、商社等が実施する量販店への販路拡大に要する経費に対し助成する。また、ヒラメ等の生産量維持を図るため、次期種苗投入に要する経費に対し助成する。	①販路拡大経費の補助による効果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>販路</th> <th>店舗数(店)</th> <th>出荷尾数(尾)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大手量販店</td> <td>約100(九州地方)</td> <td>養殖ヒラメ 6,874</td> </tr> <tr> <td>回転寿司チェーン</td> <td>約50(全国)</td> <td>養殖ヒラメ 6,827</td> </tr> </tbody> </table>	販路	店舗数(店)	出荷尾数(尾)	大手量販店	約100(九州地方)	養殖ヒラメ 6,874	回転寿司チェーン	約50(全国)	養殖ヒラメ 6,827	②次期作支援経費の補助による助成実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>経営体数(者)</th> <th>種苗尾数(尾)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養殖ヒラメ</td> <td>28</td> <td>713,298</td> </tr> <tr> <td>養殖トラフグ</td> <td>14</td> <td>355,500</td> </tr> </tbody> </table> ※ヒラメとトラフグの複合養殖11者	魚種	経営体数(者)	種苗尾数(尾)	養殖ヒラメ	28	713,298	養殖トラフグ	14	355,500
	販路	店舗数(店)	出荷尾数(尾)																		
	大手量販店	約100(九州地方)	養殖ヒラメ 6,874																		
回転寿司チェーン	約50(全国)	養殖ヒラメ 6,827																			
魚種	経営体数(者)	種苗尾数(尾)																			
養殖ヒラメ	28	713,298																			
養殖トラフグ	14	355,500																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算</td> <td></td> <td>51,489</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算</td> <td></td> <td>50,538</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	予算		51,489		決算		50,538										
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																		
予算		51,489																			
決算		50,538																			